

平成30年度第2回高松市総合教育会議

高松市のPTAの現状と課題

高松市教育委員会 生涯学習課

1 PTAとは

(1) 目的

- ・児童生徒の健全な成長を図る。

(2) 役割

- ・学校教育の理解と協力、支援
- ・家庭教育の理解と協力、支援
- ・地域の教育環境の改善と充実

(3) 構成員

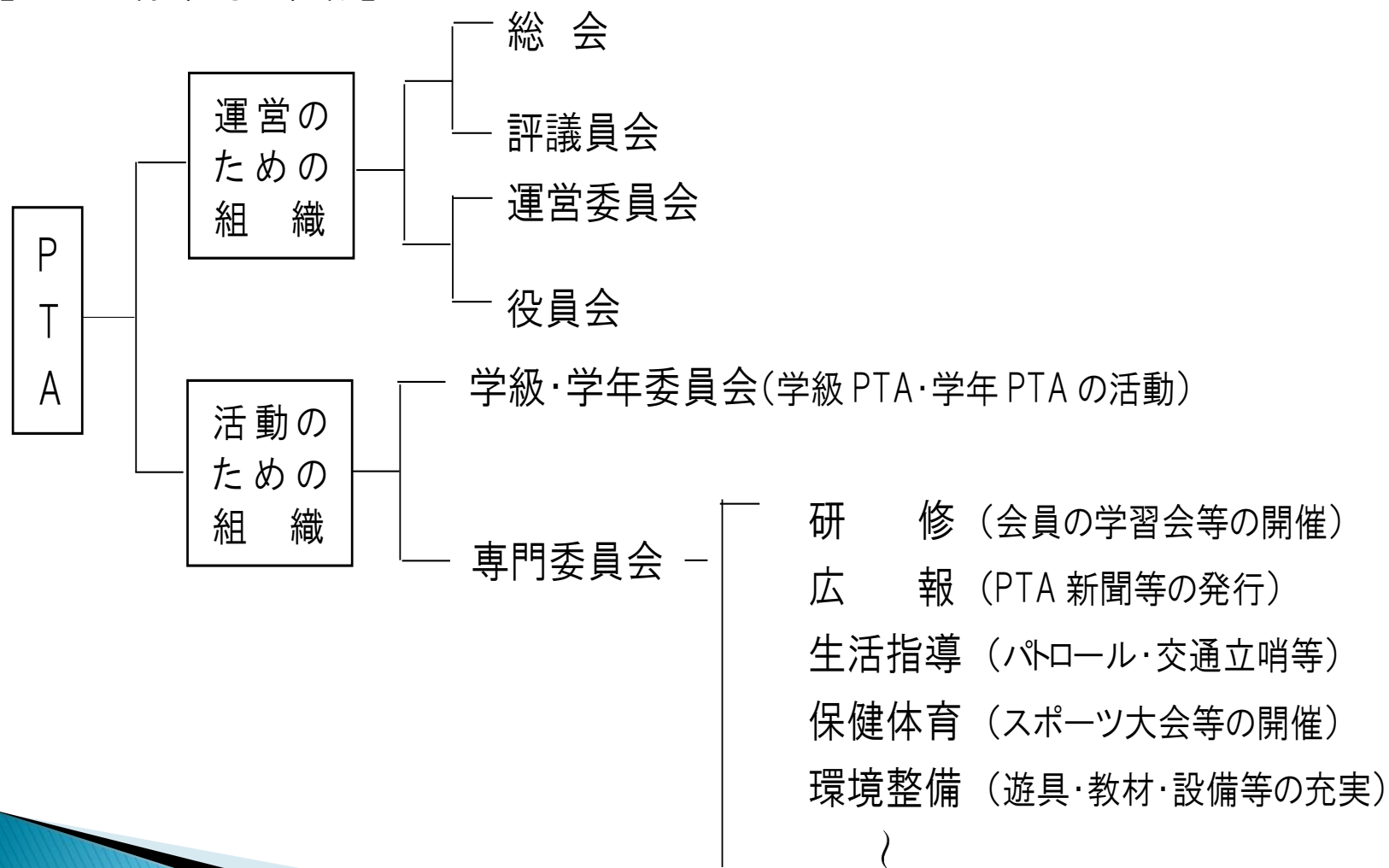
- ・学校に在籍する児童生徒の保護者
- ・その学校に勤務する教職員
- ・高松市の加入率(国公立小中学校)

99. 9%

小学校	加入世帯数18,506	未加入世帯	1
中学校	// 11,155	//	2

(4) 組織・活動

【PTA の標準的な組織】



(5) PTAの成り立ち

【1946年(S21年)】

- ・アメリカ教育使節団報告書

PTA の役割の重要性と設置・支援の必要性を示唆

- ・GHQが、日本におけるPTA の結成を文部省に指導

【1947年(S22年)】

- ・極東委員会教育改革指令

民主主義教育推進のためにPTAの設置を推奨

- ・文部省

PTA結成手引書「父母と先生の会－教育民主化のために－」を
全国都道府県知事宛に通達 ⇒ 全国でPTA設置

＜参考＞現在のアメリカのPTAについて

90%以上の学校が、保護者と学校に関する団体を設立

PTA: 全米PTA団体に加盟している団体 25%

PTO: 各学校で独立した保護者によるボランティア団体 75%

2 PTAの地域活動

- 学校と家庭、地域を結ぶネットワークの核として期待されている。
- 地域コミュニティ協議会や各種団体に加盟団体として参画している。
- 様々な地域活動に大きな力となっている。

【地域活動の例】

教育環境の改善	有害図書追放 こどもSOS活動 公園や遊び場の確保 清掃ボランティアや緑化推進
非行防止	夏休み等の校区パトロール あいさつ運動 カラオケ・ゲームセンター等の巡回
地域活動への参加	自治会等の行事参加 住民運動 地域イベントへの積極的な参加
安全指導	通学路の安全点検 交通指導 標識管理 危険箇所の点検

3 PTAの課題

(1)これまで**全員加入が“当たり前”**のようになっていたが、全国的に**「加入したくない」**との意思表示をする人も現れてきている。

(2)会員であっても、**「忙しくて活動はできない」**と言う人が、増えてきている。

→ **市PTA連絡協議会(市P連)**にも大きな危機感

【理 由】

(1) 加入したくない理由

- ・役員は忙しくて大変。役員にはなりたくない。

※役員の役割

PTA行事の企画運営、市P連会合への出席

地域コミュニティ協議会への参画

地区行事等の運営や協力 など

- ・PTA活動に対する意識が低い。

(2) 活動できない理由

女性の社会進出の進展等を背景として、PTA会員である子育て世帯は、「仕事」と「子育て」で多忙になっている。

(参考) 女性(15～64歳)の就業率 70.0%

(平成30年8月 労働力調査)

4 PTAの必要性

PTA会員が減ったり、活動が低調になると ～

1 学校の教育活動や教育環境に影響する。

- ・学校運営協議会への参画や学校行事への協力など、学校現場にPTAの協力が必要である。
- ・非行防止や安全指導など、子どもたちの健全育成のための活動が低調になる。
- ・PTAメール配信システムで連絡できない保護者が増える。
→ 少年育成センターからの不審者情報配信にも利用している。

2 地域の活動への参加が低調になる。

- ・地域コミュニティ協議会の行事や活動の多くに、PTAが協力しているのが現状である。

5 課題の解決のために

1 役員の負担の軽減

- ・PTA会員の意識改革と役割分担
→ 会員みんなが「主役」
同じ人に集中しないように。
- ・組織の見直し
- ・行事や会合等の見直し

2 保護者の理解

- ・「PTAの趣旨や活動」を丁寧に説明し、理解を得る。

6 (参考)高松市PTA連絡協議会

(1) 組 織

- ・高松市内の国公立小・中学校及び直島小・中学校のPTAをもって組織する。

(2) 活 動

- ・学校・家庭・社会における教育条件の改善・充実
- ・単位PTA及び協議会相互の連絡・情報交換
- ・会員研修
- ・教育の正常な進展に関する世論の形成
- ・教育問題要望活動

(3) 委員会活動

未来の学校検討委員会

- ・教育委員会との意見交換会を開催
- ・学校・PTAの問題を共有し、情報交換を行うことによりPTA活動をサポート

子どもの安全推進委員会

- ・生活指導者研修会の実施
- ・PTAメール連絡網の整備、少年育成センターと連携した不審者情報の配信
- ・書き損じ葉書等回収事業の収益金による各種慈善事業

家庭教育推進委員会

- ・自然体験学習(高松ふしぎ発見隊)の実施
- ・人権啓発活動

女性代表者委員会

- ・研修会等の企画・運営
- ・ファミリー読書の推進活動
- ・広報紙の発行、単位PTA広報紙の充実
- ・食育について考える機会の創出

(4) 市政への関わり

- ・附属機関や各種委員会に委員として参画
(平成30年度 約50の附属機関等)
- ・家庭教育や人権教育等の各種事業を共催、協賛等

7 (参考)高松市子ども会育成連絡協議会

(1) 目 的

各小学校区子ども会育成連絡協議会相互の連絡連携を図り、子ども会活動を拡充し、もって子どもの健全育成に寄与する。

(2) 組 織

小学校区単位の子ども会育成連絡協議会で構成

(3) 主な活動

- ・子ども会の育成指導、情報交換、連絡協調
- ・指導者研修会の実施 (リーダー研修会など)
- ・子ども会関係の諸行事の実施(新春子どもフェスティバル フットベースボール大会 など)

(4) 単位子ども会数、子ども会加入率

年度	26	27	28	29	30
単位子ども会数	623	595	560	532	502
子ども会加入率(%)	59.1	64.4	68.2	67.8	67.6

(5) 子ども会活動の例

春	新入生歓迎会 清掃活動 集団登校 など
夏	ラジオ体操 キャンプ 海水浴 夏祭り など
秋	防災体験 文化祭 スポーツ大会 農業体験 など
冬	クリスマス会 もちつき大会 たこあげ大会 卒業生送別会 など